

# 画論 The Best Image 2015 参加報告

社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 大須田恒一

画論 The Best Image 2015 にてAquilionONE部門 テクニカル賞を頂きましたので、ご報告いたします。

10月上旬のある日の夕方、画論事務局からのメールで上位入賞のお知らせを頂きました。いつもお世話になっている方々に喜びの報告をしながら、その日の夜には既にディスカッションへ向けて緊張していました。

応募画像はHCC術後の再発病変に対してCTガイド下にRFA治療を行った際に撮像したものです。当院のエコー装置にはシミュレーションシステムが搭載されていないため、穿刺後にCTで針先を確認してからRFAを行うことがあります。

Volume scanは寝台移動もなく安全で、且つ短時間・低被ばく線量で穿刺部位の状況確認ができるため医師からも好評で、エコーガイド困難な症例の処置では積極的に用いています。当院もArea Detector CTの恩恵をしっかり受けていることを伝えたくて応募しました。

ディスカッションでは造影できない状況のなか病変部の視認性向上を目指してBEST CNR解析を行ったことに対して審査委員の先生からコメントを頂きました。

当院のAquilionONE(GS)は3月にバージョンアップ(V4.74→V6.0)を行い、Dual Energy解析が可能になりました。有用な検査法を当院にも導入するべく試行錯誤している中で、主治医と相談しながら挑戦した手法を評価して頂いたことは大変嬉しく思います。

ディスカッション参加施設の中で当院の順番は後半でしたので、上位入賞施設の方々の発表を落ち着いて聞く余裕はありませんでしたが、画像の出来栄だけでなく、患者背景まで思いやり丁寧に検査を行っている症例が強く印象に残っております。検査に向かう姿勢がとても格好良いと思いました。同行の医師も大変感銘を受けており、興味津々の様子でした。

テクニカル賞受賞は今年の締め括りとして最高の結果です。また、大きな喜びと同時にその名に恥じないように努力するという課題も頂いたと思っています。もっともっと優れた検査ができるよう一生懸命に研鑽を積んで参ります。この度は本当に有難うございました。